

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

| | |
|---------------|--|
| 教科（科目）名 | 音楽（一般） |
| 発行者名（番号）・教科書名 | 教育出版（17） 中学音楽 音楽のおくりもの |
| 1 取扱内容 | ・教育基本法に定める教育の目標・目的等、学校教育法に定める義務教育の目標及び学習指導要領に定める音楽科の目標を達成する上において必要な内容が扱われており、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽への心情や感性を育て、豊かな情操を養うという点において適切かつ効果的である。 |
| 2 内容の選択及び扱い | ・教科書の全体構成は、全学年統一された3つの柱のもと、表現と鑑賞が配置されており、それぞれの教材に知識及び技能を習得するために具体的なポイントが示され、多面的に詳しく解説されており3年間を通して学習が広がり、発展するように配慮されているが、教材・資料等が豊富で、かえって指導・理解が難しくなっており精選が必要である。また、ブルタバは、使用楽器や理解の上では1年でなく3年で取り扱いたい。・生涯教育という点では著作権やコンピュータ、音楽療法など暮らしと密接に関係したものが扱われている。 |
| 3 内容の程度 | ・歌唱教材については、学年に応じた適切な音域に配慮するとともに、一人一人が無理のない豊かな表現ができるように工夫されている。・鑑賞教材については、描写的に分かりやすいものから抽象的な内容の音楽まで、3年間を通してさまざまな音楽にふれながら学習を深めることができるよう工夫されている。・歌舞伎体験などは興味を引くものだが時間がかかるため難しい。 |
| 4 内容の構成及び配列 | ・各領域の系統的な学習活動が行えるとともに、学校の実態に応じて、表現と鑑賞の分量が調節でき、弾力的な学習活動が行える。・楽曲の理解など基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得できるように、新出の記号や用語が示され、巻末にまとめられて、自主的に学習できるようになっている。各楽譜の下の絵や写真は曲のイメージがしやすいが反面単一のイメージになってしまう。折り込みについては使用しにくい。 |
| 5 創意工夫 | ・音楽を聴いたり演奏したりして、感じたことを書き込む部分があり、音楽を通して生徒の言語活動を豊かにすることができるように工夫されている。・生徒の多様な興味・関心に応じて、豊富な資料や写真、イラスト、口絵や著名な音楽家の言葉などを用い工夫されている。 |
| 6 使用上の便宜 | ・イラストや写真、コラムなどが教材内容に合わせて使用され、学習内容を理解したり、音楽のイメージを深めたりするなど、生徒が学習意欲を高める上で効果的である。また、内容を分かりやすくするために配色等が配慮されているが、ねらいや目標の文字が小さく伝わりにくい。・楽譜等の折り込みが見にくく破れる可能性もあり活用しにくい。 |
| 7 その他 | |
| 総合的な評価 | 適している |

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

| | |
|-------------------|---|
| 教科（科目）名 | 音楽（一般） |
| 発行者名（番号）・ 教科書名 | 教育芸術社（27） 中学生の音楽 |
| 1 取扱内容 | ・教育基本法に定める教育の目標・目的等、学校教育法に定める義務教育の目標及び学習指導要領に定める音楽科の目標を達成する上において必要な内容が扱われており、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽への心情や感性を育て、豊かな情操を養うという点において適切かつ効果的である。 |
| 2 内容の選択 及び扱い | ・歌唱教材については、各学年の目標や実態に合わせて、斉唱から混声三部・四部合唱まで発達段階に応じて弾力的に活動できるように配慮されており今の生徒の心情に合った曲が使われている。多くの教材に、縦書きの歌詞が掲載され、曲の表現がしやすいよう工夫されている。・日本の伝統文化や世界の民族音楽など、音楽に関わる文化について、資料のページや口絵、写真により幅広い視点から、文化や歴史の学習ができるよう配慮されている。 |
| 3 内容の程度 | ・歌唱教材については、学年に応じた適切な音域に配慮するとともに、一人一人が無理のない豊かな表現ができるように工夫されている。また、命・仲間の大切さを感じ取り、心を養うことができる教材を多く取り入れている。・各学年の発達段階を考慮しながら、歌詞、楽曲とも中学生にふさわしい内容に精選され、学習できるようになっている。 |
| 4 内容の構成 及び配列 | ・最初の口絵は視覚的にインパクトがあり、音楽の授業に対する期待感を感じさせるものとなっている。・合唱に関する選曲や編曲は、アカペラや混声二部合唱から四部合唱など、多様な編成であり、無理なく楽しく歌える内容構成となっている。・音楽記号や用語などが、「音楽の約束」と題して巻末にまとめられ、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるようになっている。楽譜の右下に巻末の参照箇所が示され、自主的に学習できるようになっている。 |
| 5 創意工夫 | ・音楽を聴いたり演奏したりして、感じたことを書き込む部分があり、音楽を通して生徒の言語活動を豊かにすることができるように工夫されている。・各教材のページの上に学習の目標がシンプルに示され、どのような学習をするのかが分かりやすくなっている。・取り組みにくくなりがちな記号やリズムを楽しく習得させるゲームを取り入れ、無理なく学べるように工夫されている。・音楽学習MAPで「歌唱・創作・鑑賞」の3つの領域が分かりやすく示されている。 |
| 6 使用上の便宜 | ・楽譜が見やすく鮮明で、紙質やレイアウト、挿絵などのデザインも見やすく工夫されている。・挿絵や写真は、学習内容を理解したり、イメージを深めたりすることができるように効果的に使用されており、生徒の興味・関心を喚起させるものとなっている。 |
| 7 その他 | |
| 総合的な評価 | 最も適している |